

NSW 土地環境裁判所長官 プレストン判事を迎えて

裁判では法的判断に際し、多様な不定性を内在する科学技術・医療などの専門的知見を利用する必要が生じます。

専門的知見活用のための新しい手法として世界的に注目される「コンカレント・エヴィデンス」を育んだオーストラリア・ニューサウスウェールズ (NSW) 州土地環境裁判所長官として、豊富な経験を持つ Brian Preston 判事の来日を機に、日豪一線の実務法律家が具体的工夫・手法を互いに紹介し、法学者・科学者と共に今後の可能性と課題を明らかにしていきます。

講演

専門的証拠のための特別な裁判手続

オーストラリア NSW 土地環境裁判所長官 ブライアン・プレストン

専門的知見の獲得のための工夫：座談会方式の経験から

東北大学法科大学院教授 信濃 孝一

日本における専門的知見の獲得のための制度と方策：

カンファレンス鑑定、複数鑑定、専門委員、専門家調停

東京地方裁判所判事 岡崎 克彦

パネルディスカッション

ブライアン・プレストン

岡崎 克彦

信濃 孝一

岡山家地裁倉敷支部判事
寺田 利彦

東京大学法学部准教授
米村 滋人

司会

立命館大学法学部教授 渡辺 千原

東北大学大学院理学研究科准教授 本堂 毅

10/24 2014 (金) 10:00-12:30

同時通訳あり

要申込

参加無料

弁護士会館 講堂「クレオ」 東京都千代田区霞が関 1-1-3
地下鉄霞ヶ関駅 B1-b 出口より直結

お申込み・お問い合わせ

東北大学大学院理学研究科 本堂 毅

sy826@mail.sci.tohoku.ac.jp tel. 022-795-5823 fax. 022-795-5831

同時通訳レシーバー準備の都合上、事前申込にご協力ください。
レシーバーは相当数準備しますが、当日参加者への配布は先着順となります。

【対象】 法律家、医学・工学等を含む広い意味での科学者
科学的専門知の利用に関心をお持ちのジャーナリストや研究者

主催：科学研究費補助金・基盤研究 (A)

「科学技術の不確実性と法的規制—学際的観点からの包括的制度設計の試み」

共催：科学研究費補助金・基盤研究 (A)

「科学の多様な不定性と意思決定：当事者性から考えるトランスサイエンス」

プログラム等を掲載しています：<http://www.sci.tohoku.ac.jp/hondou/concurrent/>

科学の専門知を
法廷でどう扱うか？